

# 商工会地域の景況感は小売業が改善するも、製造業、建設業、サービス業は悪化！

## 来期は建設業が大きく回復する見込み！

—2023年1月～3月期 中小企業景況調査報告書概要—

日銀が4月3日に発表した3月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業がプラス16と、前回の昨年12月調査から6ポイント悪化し5四半期連続で悪化した。世界経済の減速により需要が落ち込む中、石油・石炭製品や化学を中心に業況感が悪化。また、半導体や電子部品等の電気機械も業況感が悪化している。一方、大企業の非製造業は、前回から1ポイント改善してプラス20となり、4四半期連続で改善した。新型コロナウイルスの感染禍での経済活動に関する制約が徐々に解消される中、国内需要や訪日外国人の回復等を受けて、小売や対個人サービスを中心に業況感の改善が続いた。

中小企業の業況判断指数は、製造業は前回調査より4ポイント悪化しマイナス6、非製造業は前回調査より2ポイント改善しプラス8なった。大企業と同様に、業況感は製造業で悪化する一方で国内需要や訪日外国人の回復に併せて、非製造業では改善が続いた。

3か月後の先行きの見通し（2023年6月予測）は、大企業・製造業は今期より2ポイント改善しプラス3が見込まれている。半導体等の部品不足による生産制約緩和が期待される自動車を中心に業況感の改善が見込まれる。非製造業では、5ポイント悪化のプラス15が見込まれる。宿泊・飲食サービスや対個人サービスでは改善が期待されるが、物価上昇や人手不足による人件費高等などが懸念され、全体的に慎重な見方になっている。中小企業では、製造業がマイナス4と2ポイント改善、非製造業ではマイナス3と5ポイント悪化となっている。製造業、非製造業ともに大企業とおなじ変化幅

となっている。

内閣府が5月25日に発表した5月の月例経済報告において、国内景気の総括判断を「緩やかに回復している」として、10か月ぶりに上向きに修正した。「緩やかに回復」という表現が使われるのは、3年3か月ぶりとなる。個別項目では、「個人消費」について、半導体不足が解消され、自動車の販売台数が伸びたことなどから、「持ち直している」とし、「輸出」についても、自動車などの輸出が増えたことで「底堅い動きになっている」とおよそ2年半ぶりに上方修正している。

商工会地域の景況調査においては、今期（2023年1月～3月）の業況に関するD・I値は、製造業がマイナス15.6から9.4ポイント悪化しマイナス25.0、建設業がマイナス41.7から6.3ポイント悪化しマイナス48.0、小売業がマイナス52.5から8.6ポイント改善しマイナス43.9、サービス業がマイナス33.3から7.1ポイント悪化しマイナス40.4となっており、小売業だけが前期よりも改善し、製造業、建設業及びサービス業は悪化している。来期（2023年4月～6月期）の業況予測は、製造業が今期実績より6.2ポイント悪化しマイナス31.2、建設業が32.0ポイントと大幅に改善しマイナス16.0、小売業は2.4ポイント改善しマイナス41.5、サービス業は7.7ポイント改善しマイナス32.7を予測している。製造業だけが悪化すると見込んでおり、建設業、小売業、サービス業は改善すると見込んでいる。中でも建設業は大幅に改善する見込みである。

### 業界天気動向図

項目 年 月 業種	売上				採算（経常利益）				資金繰り			
	2022		2023		2022		2023		2022		2023	
	4 月	7 月	10 月	1 月	4 月	7 月	10 月	1 月	4 月	7 月	10 月	1 月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅に減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D I 値（前年同期比）	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

（数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す）

業種	1位		2位		3位		4位		5位	
製造業	1位にあがる問題点 原材料価格の上昇		2位 人件費の増加		3位 原材料費・人件費以外の経費の増加、従業員確保難		4位 原材料の不足、需要の停滞		5位	
前期	41.9	35.5	0.0	19.4	--	9.7	--	4.0		
今期	35.5	35.5	19.4	19.4	9.7	9.7	4.0	4.0		
建設業	1位 材料価格の上昇		2位 従業員の確保難		3位 民間需要の停滞		4位 大企業の進出による競争の激化、新規参入業者の増加、人件費の増加、熟練技術者の確保難、官公需要の停滞		5位	
前期	58.3	56.0	12.5	12.0	4.2	8.0	--	4.0		
今期	56.0	56.0	12.0	12.0	8.0	8.0	4.0	4.0		
小売業	1位 仕入単価の上昇		2位 需要の停滞		3位 購買力の他地域への流出		4位 同業者の進出		5位 大型店・中型店の進出による競争の激化、消費者ニーズの変化	
前期	30.8	31.6	15.4	15.8	12.8	13.2	2.6	10.5	--	7.9
今期	31.6	31.6	15.8	15.8	13.2	13.2	10.5	10.5	7.9	7.9
サービス業	1位 材料等仕入単価の上昇		2位 需要の停滞		3位 人件費以外の経費の増加		4位 利用者ニーズの変化		5位 利用料金の低下、上昇難	
前期	49.0	53.1	16.3	14.3	16.3	12.2	6.1	6.1	0.0	4.1
今期	53.1	53.1	14.3	14.3	12.2	12.2	6.1	6.1	4.1	4.1